

# 第23回・第24回合同絵本学会大会

東日本大震災から10年、コロナ禍での絵本表現を見つめる

2021年5月30日[日]

10:00-18:00

■参加費 無料

\*会員以外の方も、下記方法でご視聴できます。ただし、総会の参加は会員に限ります。

■参加方法 (会員・非会員)

下記のQRコードもしくはURLからの電子申請(Googleフォーム)にてお申し込みください。後日、ZoomのURLをお送りいたします(5月28日予定)。

◀ すでに葉書で大会参加・不参加をご表明くださった方 ▶

大会の開催形態が、対面から遠隔へと切り替わり、プログラムの内容・時間などに変更が生じています。恐れ入りますが、あらためて電子申請(Googleフォーム)にてお申し込みをお願いいたします。

締切:5月25日(火)

【大会参加希望者・申し込みフォーム】



\*以下のURLからもフォームへのアクセスが可能です。  
<https://forms.gle/NXkesR5GL7s8crsSA>

## ■スケジュール

9:50-	入室開始
10:00-12:00	研究発表
12:00-13:00	休憩
13:00-14:00	作品発表
14:00-14:15	休憩
14:15-16:15	ラウンドテーブル
16:15-16:30	休憩
16:30-18:00	総会 日本絵本研究賞、 日本絵本研究賞特別賞表彰式

\*当初の予定から開催時間を変更しております。ご注意ください。

## 研究発表

10:00-12:00

A	座長   生田 美秋・藤本 朝巳	
	大澤 瑞綺	19世紀後半から20世紀初頭のフランスにおける絵本と印刷・製本技術 — モーリス・ブテ・ド・モンヴェルの絵本作品をとおして
	Michelle Kanaan	ソフィステイケートドピクチャーブックスの新しい定義と分類をすること
	永田 桂子	わが国の「絵本」研究の確立に向けて — 立ち位置と視点提示の必要性 —
	関 純奈	林明子の絵本表現の一考察～2種の『おふろだいすき』の比較研究
B	座長   佐々木 由美子・長野 麻子	
	杉本 孝美・川野 圭子	保育活動における体験を表現へ — 絵本で感性と思考力を育てる —
	松本 由美(代表)・長澤 麻理・若林 みずほ	小学校英語教育に用いる主体的・対話的で深い学びの視点で選ぶ英語絵本の選定と考察
	玉井 智子	小学校特別支援学級での読み聞かせがもたらすもの 実践報告
C	座長   澤田 精一・甲木 善久	
	尹 恵貞	絵本『さびしがりのトッケビ』の構造分析 — 主人公が人間社会でいう「ソト」として表れる場合
	丸尾 美保	ロシアにおける「ゆきむすめ」イメージの変遷を探る
	劉 暢	中国の美術大学における絵本創作の実例 — 中央美術学院の例から

## 作品発表

13:00 - 14:00

座長 | 澤田 精一

D	宮本 淳子・田村 敏広	あ	
	手良村 昭子	雨の日のうた	
	<del>加賀美 裕子</del>	<del>ハヤシコトバ</del>	<del>中止となりました</del>
	<del>宮崎 詞美</del>	<del>小さな窓 (small window)</del>	<del>中止となりました</del>
	<del>ベップ ヒロミ</del>	<del>マッチ売りの少女</del>	<del>中止となりました</del>
	宇恵 明日美	ねぐせなの	

## ラウンドテーブル

14:15 - 16:15

### R1 「3.11後の絵本表現」

話題提供者 | 長谷川 集平 (絵本作家・ミュージシャン)  
荒井 良二 (イラストレーター・絵本作家)  
コーディネーター | 広松 由希子 (絵本研究家)

2011年以降、特に注目すべき作品を発表し続けてきたふたりの作家を招き、東日本大震災以降の絵本表現について語り合い、絵本と社会、時代について見つめ直す。



#### 長谷川 集平 (はせがわ しゅうへい)

1955年、兵庫県姫路市生まれ。武蔵野美術大学中退。1976年『はせがわくんきらいや』(第3回創作絵本新人賞)でデビュー。初期の『とんぼりの日々』『トリゴラス』『日曜日の歌』から、東日本大震災以降の『小さなよつの雪だるま』『れおくんのへんなかお』『およぐひと』『アイタイ』『あなに』『天使がいっぱい』『むねがちくちく』『ファイアー』まで、常に絵本の可能性を問いつつ、子どもからおとなまで幅広い年齢層の読者を増やしてきた。プロレス絵本『パイルドライバー』、野球絵本『ホームランを打ったことのない君に』など、大衆文化に対する独自のスタンスを持つ。『絵本づくりトレーニング』は実践的入門書である。長崎市在住。



撮影:有村蓮

#### 荒井 良二 (あらい りょうじ)

1956年、山形県生まれ。『たいようオルガン』でJBBY賞を、『あさになったのでまどをあけますよ』で産経児童出版文化賞・大賞を、『きょうはそらにまるいつき』で日本絵本賞大賞を受賞するほか、2005年には日本人として初めてアストリッド・リンダグレン記念文学賞を受賞するなど国内外で高い評価を得る。また、NHK連続テレビ小説『純と愛』のオープニングイラストを担当。2018年まで「みちのおくの芸術祭山形ビエンナーレ」の芸術監督を務め、その活動の幅を広げている。

#### 広松 由希子 (ひろまつ ゆきこ)

絵本の文、評論、翻訳、展示企画などを手がける。著書に『おかえりたまご』(アリス館)、「いまもかしえほん」シリーズ(全11冊岩崎書店)、訳書に『ローラとつくるあなたのせかい』(BL出版)、『ヒキガエルがいく』(岩波書店)、『うるさく、しずかに、ひそひそと』(河出書房新社)など。立教大学、武蔵野大学、横浜美術大学講師。JBBY理事。国内外の絵本コンベンションを歴任、2017年プラチスラバ世界絵本原画展(BIB)では国際審査員長をつとめる。2020年、絵本の読めるおそうざい屋「83gocco(ハチサンゴッコ)」を東京・市ヶ谷にオープン。

### R2 「安野光雅 旅の終わりに」

話題提供者 | 辻川 幸一郎 (映像作家) 林 綾野 (キュレーター)  
コーディネーター | 石井 光恵 (絵本研究家)

~~中止となりました~~

#### 【参加者のみなさまへのお願い】

- Zoomの使い方および、通信環境などのサポートは出来ません。事前に、当日使用する端末にZoomのアプリをダウンロードしておくなど、ご自身での準備をお願いいたします。
- すべての大会プログラム(研究発表・作品発表・ラウンドテーブル・総会・日本絵本研究表彰式)の内容の録画や録音は禁止です。画面の撮影や画面収録・スクリーンショットもお控えください。掲示資料に関わる著作権の問題、参加者の個人情報保護の観点からも皆さまが安心して参加できる環境を目指しています。くれぐれも厳守をお願いいたします。
- プログラム中はカメラをオフにし、音声はミュート(消音)でご参加ください。

#### ■主催 絵本学会・刈谷市美術館

□ 問い合わせ先 □

【第23回・第24回合同絵本学会大会事務局】

刈谷市美術館 〒448-0852 愛知県刈谷市住吉町4-5

E-mail: office@ehongakkai.com FAX: 0566-26-0511

<https://www.city.kariya.lg.jp/museum/>